

当院における半固形化栄養剤の使用状況 ～ハイネゼリー™の有用性について～

済生会松阪総合病院 NST 管理栄養課¹⁾ 薬剤部²⁾ 内科³⁾
松本由紀¹⁾ 内田瑞穂¹⁾ 佐久間隆幸²⁾ 橋本章³⁾ 清水敦哉³⁾

【目的】ハイネゼリー™の有用性を明らかにするために検討を行った。【対象・方法】検討1:平成23年6月～平成24年5月に胃瘻からハイネゼリーを2週間以上使用した入院患者30例について検討した。検討2:同期間中に液体栄養剤からハイネゼリーに変更した21例のうち、経過中にCD腸炎を起こした5例を除く16例で下痢について検討した。【結果】検討1:Alb、TLCはハイネゼリー投与前後で有意に増加、CRPは有意に減少した。検討2:下痢症例は9例から2例と有意に減少した。症例1)64歳、男性、交通外傷、頸椎骨折で入院。食事開始するも発熱あり中止。EDよりEN開始し、その後PEG造設。PEG造影で胃食道逆流を認めたため、ハイネゼリーで再開。喀痰量は減少し、経過良好で転院。症例2)86歳、男性、肺炎で入院。PEGよりEN開始するも嘔吐後誤嚥性肺炎となり中止。ハイネゼリー開始するも発熱あり中止。PEG-Jに変更後も嘔吐、発熱を繰り返したためEN断念。静脈リザーバー留置し転院。【考察】ハイネゼリーは下痢症状の抑制には極めて効果的であった。発熱においては一部有効な症例もあったが、効果のない症例もみられた。